

琉球大学学術リポジトリ

うり類の害虫とその防除

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高良, 鉄夫 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19577

二つ位にして一週間に一回位 布する。併しボルドウ液が葉に残つて居ると葉害を主とするから、ボルドウを撒布して居る胡瓜は硫酸剤を混合して四斗式石灰少量ボルドウ液を撒布する。

五、おわりに

胡瓜の栽培は最も労力を要するもので、労力の不足するところでは他の作物を栽培するがよからう。農家の胡瓜栽培は一般に粗放で収量も少くない様である。特に北這い作りが習慣化して居て節成り性の品種までも北這い作りにして居る。節成り性のものは短日で節成り性を現す為、台風期前に栽培されるべき品種である。従つて台風の被害を受けるおそれがないので節成りのみでも支柱作りをしたいものである。支柱作りをした場合は、反当腐付け本数が多くなるので、収量は北這い作りよりよい。

胡瓜は多肥主義で栽培されるため植物体が軟弱で、病虫害は必ず発生するものである故薬剤撒布の回数を多くしなければならぬ。若し、多量の肥料を施すことが出来ず又薬剤撒布の不可能な時は、栽培面積を縮少し、肥料、労力を注ぎこんで集約栽培をすべきである。

(管 城 滋)

うり類の害虫とその防除

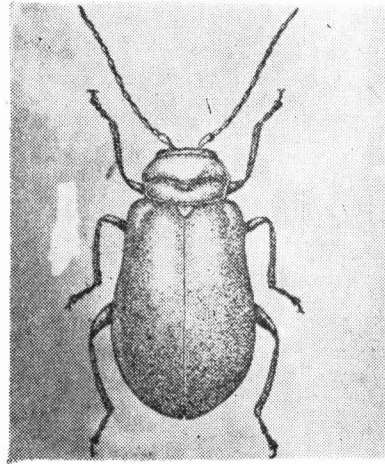
一、ウリハムシ

琉球におけるウリ類の害虫としては、先づ第一にウリハムシをあげねばならない。これは全球は勿論日本本土、朝鮮、支那等の比較的温暖な地方に多く、被害もまた著しい。

この害虫は俗にウリバエ(瓜守)あるいはアカバエとも呼ばれて居る。実物を御存じでない方はハエの部類かと思われるかも知れませんが、ハエとはおおよそ縁遠い種類である。止つて居る時はハエのように両方の脚をもんだり、体を掃除したりする動作が見られるが、口は葉をかんで食べるようにできている。

一、どんな形をしているか

成虫(親虫)は体長約七粒(二・三分)で、略長だ円形をしたとう黄色の甲虫である。幼虫(子虫)は細長く略ワジ形をして黄白色を呈する。卵からかえつた当初は約四粒(一・三分)位であるが、成長したものは約一〇粒(三・三分)位に達する。



ウリハムシ(湯浅原図)

二、どのような生活をしているか

成虫は三月頃潜伏所を出て、ウリ類に縁の近い野生植物について居るが、四月頃になつてウリ畑に飛来する。成虫はウリ類の葉や果実の表皮を食う他ナス、トマト、大麦、小麦、稲、インゲン、小豆、大豆、大根、白菜、ゴボウ、ヒマワリ等を食害する。然しながら一般にウリ類程被害は著しくない。成虫は性敏感で、物に驚くと急に逃げ去るか、又は落下する。暗期は地表あるいは地中に行われる。卵からかえつた幼虫は地中で根を食う他地面に接した果実も食害する。苗の時代に発生が多いと生育を著しく害し枯死するようになる。

空一三回発生を繰返し、一二月頃漸く寒さが訪れると落葉草根、石垣等に潜り込み、冬をこして三月頃再び出現する。

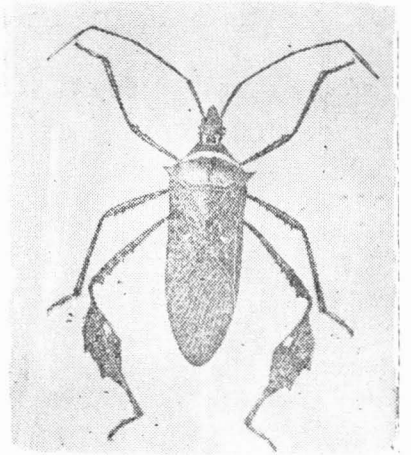
三、どんなにして防除するか

人が接近したり、薬剤を撒布したりすると他へ逃げ去り、数日絶食して再びウリ畑に飛んで来るので、防除が思うようにならない場合があるが次の方法は効果的である。

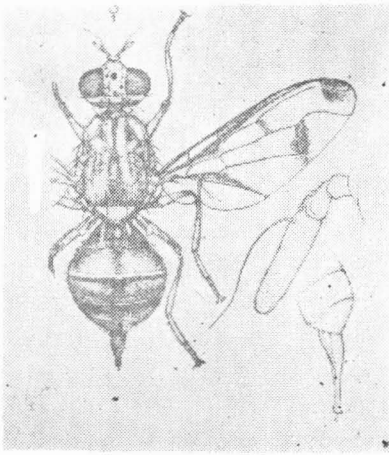
- ① 苗の時代に発生している時は補殺する。予め糸網又はペラフィン紙などでカサ形に被うておくと防除の人数がはぶける
- ② 発生が著しく捕殺で間に合わない時はひ酸鉛又は酸石灰一ポンドを水四斗にとかして撒布すると良い。然しひ酸鉛の場合は単用では割合に効果が少ないので、ひ酸鉛四〇匁にカゼイン石灰四〇匁を水一斗にとかして用いると良い。
- ③ 又ひ酸鉛四〇匁を三斗式石灰ボルドー液(この場合石灰は半量程度が良い)一斗にとかして用いると病害も同時に防除することができる。
- ④ 幼虫にはデリス剤が効果的である。これはカンコウ殺虫剤六匁を水一斗にとかし、一株当り八合位根元の地中に注入する。デリス粉一〇匁石けん二〇匁を水一斗にとかして撒布すると同時にアブラムシの駆除もできる。
- ⑤ 一般に用いられているDDT、BHCはウリハムシを殺す効果はあるが、ウリ類のものが害を被つて枯死する。又アブラムシ防除にもBHC、テップ剤は効果があるが前記のようにウリ類そのものが葉害を受ける。
- ⑥ HBCは前記のように葉、果実などにかけると葉害をうけるが、BHC一〇%粉剤を坪当り一〇匁、株元から三十五寸離して土表面に撒布し、表土を軽く混ぜておくと暗期防止に役立つらしい。但し幼植物では葉害をうけるおそれがあり、成長したウリでも葉葉にふれないようにしなければならぬ。

二、その他の害虫

ウリハムシの他に琉球におけるウリ類の害虫としてはクロウリハムシ(ウリハムシに似た物で体は黒色をしている。防除



アシピロヘリカメムシ (江崎原図)



ウリミバエ (案木原図)

法はウリハムシに準ずる)、アシピロヘリカメムシ(成虫幼虫とに葉葉実から汁を吸収する)、ワタアブラムシ(主として葉裏にいて汁を吸収し葉を萎縮させる)、メクラカメムシ類(幼果や幼芽から汁を吸収する。果実の場合はヤニ方面で笠落果し幼芽の場合は萎縮する)、クロヘリノメイが(幼虫が葉をつとつてその中で食害する)、ハスモンヨトウ(幼虫

が葉、莖等を食う)、ウリミバエ(幼虫が果実の内部を食つて腐敗させる)等があげられるが、これらについては何れも例を見てのべることにする。(高良鉄夫)



読者だより

前略 教育、研究、普及と三拍子揃った坑大の今後の成長を活躍開いて見守りたいと思ひます。私達町村の第一線にあつて日夜普及事業に専念して居るものゝ一人として坑大の農家政学部に非常な近親感を寄せております。

農家便りを御惠送下され有難く拜読いたしております。配布を受けた方々も非常に感謝いたし熱心に読んで肉となし血となすよう實際面に役立てるべく勉強いたしております。進歩的な農民達の意欲をいやが上にも昂揚いたし農家の改良発展に貢献させたいと思へております。

宮野座村農家改良普及員 金 武 銀 一

(前略) 当町には生活改善グループもありますが、其の面も考慮して配布しましたら、夫婦共に勉強が出来ると、大変喜ばれて居ります。

誠心だとは、知人や他のクラブ員に渡して互に知識や技術をみがき合うことが出来るようにと、励めて居ります。(後略) 与那原町農家改良普及員 上 原 正 治

農家便り有難く受領致しました。当村の識者各位、及び農家の読者各位から大変好評で愛読されて居ります。

何卒今後普及事業促進のため、科学的技術の向上のため、農家の良き相談相手として御指導並び御援助下さいますようお願い申し上げます。(後略)

石川市農家改良普及員 新 垣 武 吉

貴学部より多数の(農家便り)を送り下さいまして誠に有難う御座います。同業誌が農村の指導層に多く読まれることにより沖縄農業の革新に大きく寄与するものと期して喜ん

でいます。後略 三和村農家改良普及員 徳 元 清 一

(前略)、毎月送つて下さる農家便りによりまして小生の仕事も都合よく進めて居ります。又、生改グループ會員、四日クラブ員も交代にて我先を競つて読んで居ります所へ、三月号より各部落婦人會及篤農家の方々に配りましたら、読々希望者が増えて、各部落に交代で読んで貰う様に致しました。(後略)

浦添村農家改良普及員 又 吉 政 秀

あとがき

農家便りの配布其他に多大の御厚意を寄せて下さる市町村の普及員に、深く感謝申し上げます。

読者名簿を見ますと、町村の産業界指導者を初め、広く篤農家に配布され、大変有意義に御愛読いたされて居るようで、この仕事のやりがひを感じます。

尚、現在の部数では満足の配布を致しかねますが、要望がありましたら御連絡下さい。又自教の關係で、説明不十分な点や、経営上、色々の疑問な点があることと思ひますが、そのような場合は葉書でなりと御質問下さい。喜んで御答いたします。

北部農林高校十周年記念式典のさい、陳列場の一部をかしていただいて、肥育豚と病虫害の展小會を催しました。千人以上の参観者があり好評をいただきました。北農の御支援を感謝申し上げます。

発行所 琉球大学農家政学部
 発行人 島 袋 俊 一
 印刷所 沖繩タイムス社